

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年2月24日 先頃Pleasure Racing Service に注文していた荷物が本日到着した。



ターボパイプは、タービンで圧縮された吸気をインタークーラーに送り込むためのものだが、純正ターボパイプはお世辞にも吸気がスムーズに流れるとは思えない非効率な形状だったので、このステンレス製等長ターボパイプに交換することにした。



他にもこのPleasure Racing Service の等長ターボパイプを購入した理由は、パイピングの曲げ加工、取り回しやフランジ回りの溶接処理など、ご覧の通りとても丁寧でしっかりした造りをしているからで、ただ美しいだけでは無い製作者の拘りが感じられたからである。その造りをどうかじっくりとご覧頂きたい！



パイプとフランジの継ぎ目の段付きも丁寧に研磨して滑らかになっている。



気流が左右にスムーズに振り分けられるよう整流板を設けて、圧力損失を防ぐ工夫。



純正ガスケット



Pleasure

Racing Service

2003年2月29日

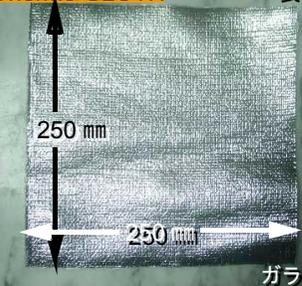
本日は、既に購入済みの Pleasure Racing Service 製等長ターボパイプに熱対策を施した。

先ずオートボックスに行き JURAN RACING PARTS からリリースされている厚口1.5mm/250mm×250mmのシートになったサーモクロスを購入した。

耐熱性に優れたガラスクロスに高純度のアルミ箔を転写したもので、熱透過を90%抑制するようだ。ただし付属していたタイラップは短すぎて使えなかったので、手持ちのインシュロック製タイラップを使用。

JURAN RACING PARTS 製 Thermo CLOTH

表面 裏(ガラス製断熱クロス本体)



ガラスクロスだけで熱透過70%抑制する。

アルミ箔コーティング

ガラスクロス

付属のタイラップ(使用せず)



タイラップがずれたりしないように確実に要所を決めて締めていった。



なるべく1枚のシートを有効に使いたいのので、耐熱シートを裁断する前に、まず型紙を作って直接パイプに巻いてみた。あれこれやって、最終的に三分割でそれも少ないと判断し決めた。決定した型紙に合わせてシートに罫を入れた。

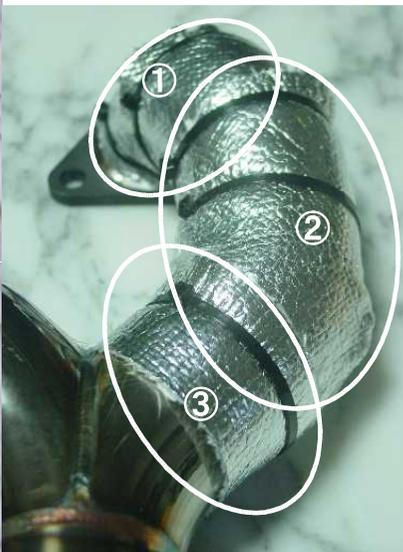
なかなか3Dのパイプ曲面に密着するようにシートを固定するのは、かなりの根気が必要でけっこう大変だ。さらに作業中、ガラスクロスの細かいクズが舞うので、吸い込まないよに細心の注意が必要だ

今回もまた、インタークーラーの脱着作業があるので前回装着したSAMCO製ターボパイプも念のため新品を GaregeNOB に注文し取り寄せておいた。



まあ初めての仕事にしては、よくできたと思っている。心配はタイラップがタービンの輻射熱に耐えられるかだ。

これでターボの熱からパイプをしっかりガード出来る。



SAMCO 製ターボパイプ



Garage
NOB



SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年
3月1日

Pleasure
Racing Service

今日は朝から、インタークーラーを外して、昨夜から準備しておいた Pleasure Racing Service の等長ターボパイプの取り付けを実施した。天候は風がやや強いものの、屋外で作業するには悪くない日だった。さすがに2度目の取り外し作業は早かった。

取り外した I/C



上の画像は PRC の HP にあったものだが、私の純正ターボパイプは一体型で、明らかに形状が異なっていた。



とりあえず等長を意識して設計されているが、右のパイプの曲がりはどう見ても不自然だ。

そもそもこのようにパイプの分岐点がインタークーラーの本体に近すぎるのが問題だと思う。

ターボパイプの曲がりを比べて



ターボパイプを取り付けフランジ面は



かなりきれいな状態だが、念のために面研する。

オイルストーンで面を整える



ターボパイプを外した I/C



ボルトの締め付けトルクは 1.6 kg/m

800 番、1500 番、最後は 2000 番の耐水ペーパーで仕上げた。



異物が入らないようフタを...

純正エルボーパイプの取り付け OK。



エルボーパイプの位置も OK



純正ガスケットを入れ、純正ボルトは規定トルク 1.6 kg/m で確実に締結する。

作業完了！後は車両に取り付けるだけ...



もうこれで、この眺めも見納めだ。

取付作業も2回目ともなれば、慣れたものでホースピックやロングプライヤー等の道具の威力も手伝って、いたって簡単に終了した。



装着状態の画像。

案の定前回 I/C 取付の際、ドライバーで無理矢理こじって嵌めた SAMCO 製ターボパイプは、内側にかなり大きなキズがいくつもついていて、結局再使用出来ないことが判明した。さっそく用意していた新品に交換して装着。



エンジンルームの上からでは、このとおりである。